

お世話になった人、国に恩を還元



2等陸尉 佐藤 優光 (さとう まさみつ)

【現部隊】陸上自衛隊 第18普通科連隊 第1中隊

【入隊日】平成29年3月入隊

【出身校】北海道教育大学

●学生時代の夢や思い出は？

大学時代の思い出は、「教育実習」です。生徒に物事を教える難しさ・楽しさを知ることができ、教えるためにはその何倍もの知識がないといけないことを学びました。

●入隊した動機・経緯は？

体を使った仕事であること、教育者として技能を生かせること、尊敬する父親が自衛官であることを理由に自衛官（幹部自衛官）としての道を選びました。そのまま教員になることも考えましたが、今までお世話になった人、国に最もその恩を還元できることを考えたところ自衛官という選択に至りました。

●入隊してからの思い出や楽しかったことは？

各種演習は一つ一つが思い出になってます。私が所属している普通科部隊は所謂「歩兵」と言われる職種であり、体を使う仕事になりますが、相手はどのような装備でどうやってくるのか、与えられた地域でどのように守れば勝てるかをよく考え、勝利して時には充実感で満ち溢れます。



●現在の主な仕事内容は？

小銃小隊長や運用訓練幹部として各種訓練（射撃、演習、各種教育等かなり幅が広いです）の計画立案、その成果の作成、隊員に対する各種指導、各係幹部としての任務等、幅広い仕事をしています。

●一般幹部候補生の魅力は？

最大限キャリアアップを図ることができることです。当初から幹部（3尉）からスタートし、やる気と努力次第で「陸将」まで可能性があり、様々な高度な教育にも参加できます。

●一般幹部候補生になって良かったと思うエピソードは？

部隊の成長を真に感じられることです。小隊長として部隊を指揮することや訓練の立案者として実際に訓練を実施する中で、良い結果は良い結果として、問題点は次はどのように改善していくべきか考え、部隊の精強化の中心になることができます。



●幹部自衛官になって成長できたと感じていることは？

どのように物事を考えれば、論理付けて正しい結果を出せるのかという思考力、限られた時間の中で優先順位を決めて正しい行動方針を案出する判断力等多くのことで成長することができました。

●将来に向けて努力していることやこれからの目標は？

今の役職でできることを最大限実施し、部隊に貢献するとともに、より多くの部隊経験を積むことです。幹部自衛官になると、同じ役職で仕事をできる期間がとても短いです。なので今この瞬間に実施している仕事を大切にしていきたいと思います。

●これから一般幹部候補生を受験しようと考えている皆さんへ

多様かつ責任の重い仕事であると勤務してはいますが、その分やりがい満ち、日々の業務の中で成長を感じられています。また、自衛隊といっても一重に肉体労働ばかりではないので、どなたでも発展性と可能性のある仕事だと思います。

自衛隊の良いところは沢山ありますが、特に職種の幅広さがあります。陸自の中でも、私のような普通科、機甲科、野戦特科などの戦闘職種だけでなく、会計科、衛生科、需品科、輸送科等あなたに合う職種は必ずあると思います！